

多文化防災セミナー



災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。

SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも自分で自分の身を守り（自助）、適切な行動（避難等）に繋げられるよう、防災について学ぶセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズについて学び自分で非常食（アルファ米）を作って試食したり、また消火器訓練や煙体験など、実際の体験を通じて防災について学ぶ機会を提供しました。

日 時	2020年11月7日（土） 9:00～12:00
会 場	佐賀大学 菱の実会館
対 象	佐賀大学留学生
参 加 者	15名
協 力 機 関	佐賀大学、佐賀広域消防局、日本赤十字社佐賀県支部



日 時	2020年12月6日（日） 9:30～12:30
会 場	小城保健福祉センター
対 象	技能実習生
参 加 者	50名
共 催	小城市
協 力 機 関	ワタキューセイモア株、日本赤十字社佐賀県支部



外国人とともに取り組む!! 「災害対応ガイドブック」作成

2019年度に（一財）自治体国際化協会（CLAIR）の助成を受けて作成した災害時における外国人対応（配慮）をまとめた日本人向けのガイドブックについて、2020年度は、コロナ禍で人を集めての講座の開催ができませんでしたが、自治体国際化協会（CLAIR）の全国優良事例集に掲載されたり、JIAM（全国市町村国際文化研修所）の研修で、取り組み紹介を行う機会をいただいたりと、全国的な広がりがありました。

災害多言語支援センター設置・運営訓練

佐賀県と設置協定を締結している「佐賀県災害多言語支援センター」について、佐賀県国際課と合同で設置・運営訓練を実施しました。災害多言語支援センターでは、災害時に、外国人に向けて必要な情報を多言語発信したり、行政や避難所から要請があれば避難所を巡回し、避難している外国人から困りごとを聞き取り必要なサポートを行っています。

今年は、避難所巡回訓練を行い、避難所に避難してきた外国人に翻訳機を使っての聞き取りや、掲示板に書かれている内容を伝えるなど外国人の不安に寄り添った対応を心掛け、いざというときに必要な対応について確認をしました。

実 施 日	2021年3月23日（火） 8:45～12:00
会 場	佐賀商工ビル 大会議室
参 加 者	外国人住民 9名 (国籍：ベトナム、韓国、インドネシア、 フィリピン、ネパール、バングラデシュ)
協 力 者	



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）

県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践している県内の国際交流団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ 2,500部 年3回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等



地球発見隊出前講座



多文化共生理解出前講座（外国人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、留学生、県内外外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	32件
派遣講師数	39名（延べ）
受講者数	1,485名

佐賀県立唐津商業高等学校

派遣講師国 ドイツ

受講者 20名



講座のねらい

唐津商業高等学校は、現在、商業科目「課題研究」の中で「国際交流」をテーマに活動している。今回の講演では、実際の交流の中で感じる異文化コミュニケーションに焦点を当て、異文化理解に必要なことを具体的に講師の先生にお話し頂き、生徒達は改めて異文化理解の難しさを知ると同時に何を意識して交流を行うべきかを考えることができた。また、他国の文化を知ることにより、改めて当たり前だと感じていた自国の文化や生活について振り返ることもできた。特に、同世代であるドイツの高校生活についての興味関心度が高かった。

今回の講演を通して、多言語を学習することによって得られる素晴らしい経験を知り、さらに語学学習や課題研究に対する意欲が高まったようと思われる。



講座の内容 (概要)

- 講師の自己紹介
- 日本への留学経験発表
- ドイツの土地や文化、食事について
- ドイツにおけるコロナウイルスの現状
- 異文化理解に大切なこと
- 質疑応答
- 日本とドイツを比較した発明クイズによるアクティビティ
- ドイツでは保育園から大学まで学費が無料ということに驚きました。
- 今までドイツのことを知らなかったけど、もっとドイツのことを知りたいと思いました。
- 日本で当たり前だと思っていたことが、海外では当たり前でないことを知った。これからはもっと感謝して生活しようと思いました。



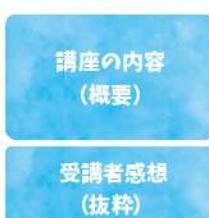
多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

市役所や町役場、民生委員協議会を対象に、県内外外国人住民の現状、やさしい日本語など多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをSPIRA職員を講師として実施しました。

派遣件数	8件
派遣講師数	8名（延べ）
受講者数	172名

佐賀市役所

受講者 自治会長30名



講座の内容 (概要)

災害対応ガイドブックが完成したことと、近年地域でも外国人住民が増えていること、近年大規模災害の発生頻度も多くなっていることから講座（説明）を依頼。災害時における外国人への対応について協会が作成したガイドブックに沿って説明をしてもらった。やさしい日本語や、いざというときに助け合えるよう普段から外国人とも繋がりを持つ（顔の見える関係を築く）ことも重要であるということが分かった。普段外国人と接することができない人や、地域で外国人が増えている地区の人の双方にとって学びとなった。

- 災害時における外国人への対応について、知ることができた。地域にも外国人が増えてきており、外国人を視野に入れた災害対応の必要性を感じている。今回のガイドブックを各地域の地区長にも配布し、外国人対応についての理解を講座等を通して広めていきたい。

国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	5件
派遣講師数	5名（延べ）
受講者数	507名

唐津市立西唐津中学校

派遣講師 認定NPO法人 地球市民の会 受講者 70名



- 開会
- 校長先生より（あいさつ、講師の先生の紹介）
- 講演「みんなで考えようSDGs」
- 質疑・応答
- お礼の言葉
- 閉会

SDGsについて話を聞いてぼくたちは2030年より未来を生きるということで、二酸化炭素を減少させる取り組みなどをして良い環境になった地球を目指したいと思いました。気候変動や格差から地球を守っていきたいです。みんなで同じ目標を目指して取り組むことでみんなの意識や生活が変わると思います。これから自分にできることを考え、すみやすい地球にしていきたいです。

今日の講話の中で、僕は17個の目標を聞いて、この取り組みはこれから社会に必要だなと思いました。唐津は海に近くて、海をよく見るけど、いつもゴミがたまっていたり汚れていてきたないです。でもSDGsの取り組みがみんなできるようになったら、海もきれいになって住みやすくなると思います。そして、外国の貧しい人たちもちゃんと生活を送ってもらえるように自分もSDGsに取り組みたいです。



ランチタイムEnglishセミナー



毎年大人気の英語セミナーです。今年は佐賀県国際交流員オランダ出身のマルティネスルッテさんを講師に迎えて、多様な視点でオランダについて話していただきました。また、今年はコロナ禍でランチの持ち込みをなしにして開催したり、オンラインにて配信したりする等、開催方法を工夫しながら開催いたしました。

期間 2020年6月23日～2021年3月2日（全7回）



- 講師
マルティネスルッテさん
(オランダ出身／佐賀県国際交流員) 6回
アルマンタス ヴィトカウスカスさん
(リトアニア出身／インターンシップ生) 1回



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、ホストファミリー、の5つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

ボランティア登録者数（2021年3月31日現在）

ことば多言語	188名
・うち医療通訳	36名
ことば日本語	134名
・うち子ども支援	47名
ホストファミリー	62家庭

【登録者数 合計 延べ467名】

多文化共生等助成事業



県内の民間団体が行う事業の振興を図り、本県の国際化推進、多文化共生の推進に資するため、事業経費の一部を助成金として交付しました。「多文化共生事業」「国内での国際交流事業」「海外での国際交流事業」「国際協力事業」の4分野で活動した県内6の民間団体に対して、助成しました。

分野	実施主体	事業
多文化共生	佐賀県外国にルーツを持つ生徒交流を支援する会	<p>「さが わーるどりんぐ」 外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者たちを対象に交流会の開催や生活の支援活動を行い、彼らが日本での生活をするための帮助を通して地域のより良い共存社会の構築に寄与した。</p>
	唐津ボランティアガイド	<p>「来訪外国人に対する案内通訳者を育成する研修」 唐津に来訪される外国人観光客を案内する時に必要な知識の取得や案内ルートの確認を目的に、唐津市南部地域の観光スポットにて実践型研修を行った。</p>
国内での国際交流	特定非営利活動法人 地球市民の会	<p>「SDGs Academy SAGA」 SDGsをテーマに、日中韓3カ国で2030年までにできるアクションを考えるオンライン交流会を実施した。コロナ禍ならではのオンラインによる開催で国際交流を促進するとともに、国際社会共通の目標について考える機会となった。</p>
	ICE-T	<p>「ICE-Tスポーツ交流会」 武雄方面に住む外国人住民と地域住民と、スポーツを通して交流を深めた。</p>
海外での国際交流	特定非営利活動法人 愛未来	<p>「世界とつながるフェアトレードフォーラム in SAGA」 フェアトレードとは何か？フェアトレードの世界的な取り組みやSDGsとのかかわりをわかりやすく佐賀県民の方々に知つもらう機会となった。また、フェアトレード商品を通して、日常生活の中で私たちができる国際協力活動とは何かを考えさせられるフォーラムであった。</p>
	佐賀中国交流倶楽部	<p>「佐賀中国交流倶楽部の料理講習会の開催と国際交流」 上海で日本語学習をしている日本語学校の生徒たちとオンラインで相互に国の代表的な料理の作り方を教え、作った料理を食べながらオンラインで交流会を行った。コロナで対面することができないが、画面越しで国際交流・異文化理解をすることができた。</p>

他、5団体より助成の申請がありましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催中止となつたため、事業として助成できませんでした。

さが国際フェスタ

10 人気国の手芸
をくじかう
11 各国の文化祭
をくじかう



今年で23回目の開催を迎えた国際フェスタ。今年も活動の地域展開を図るべく、メインイベントを神埼市で開催しました。10月4日（日）のメインイベントでは、王仁博士顕彰公園の駐車場を貸し切り、多国籍料理ブース、異文化体験ブース、民俗雑貨販売、団体活動PRブース等、神埼市で活動をする国際交流・協力団体を中心に県内から38の団体の参加があり、日本人だけでなく多くの留学生にも参加していただきました。

当日は、日本人住民、外国人住民合わせて約1,400名もの来場があり、このフェスタをきっかけに、普段の生活ではなかなか触れ合う機会のなかった留学生と地域住民が触れ合う機会にもなり、地域住民と外国人住民の顔の見える関係づくりにも貢献できました。

また、月間を通して県内CSO団体による国際交流・協力に関するイベントが開催され、月間中は佐賀市内のみならず、今のコロナ禍でも開催できるオンライン形式でのイベントも開催されるなど、様々な国際交流・協力が盛んに行われ、異文化に触れる機会となりました。

県内国際交流・協力団体によるイベント（一部）

10/17
[土]

アフリカ難民と彼らの暮らし
特定非営利活動法人 難民を助ける会
(AAR Japan)
会場 カフェLIFT COFFEE



「難民」とひとくくりにできない、多様な側面を知つてもらう機会になったと思います。佐賀の街中にある素敵なカフェを会場にしました。

10/24
[土]

子ども向けHalloweenであそまなぶ
主催 佐賀県国際交流協会（SPIRA）
会場 国際交流プラザ



毎年恒例となっているHalloweenであそまなぶ！今年も30名近くの親子に参加してもらい、ハロウィンを満喫しました！

10/24
[土]

ホストタウン国紹介～フィンランド編～
主催 さがホストタウンおもてなしネットワーク
会場 オンライン (FaceBook Live)



今回は元佐賀大学留学生の方に、フィンランド現地からフィンランドについて、生活習慣や食事、サウナなどのことを教えていただきました。佐賀のホストタウン相手国として、多くの選手がキャンプに来られる予定ですので、みんなで応援ていきましょう！

多文化共生情報発信事業



ラジオ放送（えびす FM）

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM（えびすFM）のラジオ番組により発信しました。

放送日 毎月第3水曜日 19:00～20:00 放送回数 12回

参加者 SPIRA職員、県国際課職員、外国人住民、日本語教室ボランティア等



「SPIRAフォトコンテスト2020」

自分の周りで起こっている県内の国際化の現状を写真に収め、それらを広く知らせることで、多文化共生の意識がまだあまりない人たちにも、佐賀に外国人が増えていること、外国人と共に暮らすことを身近に感じてもらうことを目的に、広く県民から作品を募集しました。

表彰式 2020年11月21日 場所 佐賀県国際交流プラザ



写真展 計3か所（佐賀商工ビル、佐賀市立図書館、唐人まちなか美術館）



金賞受賞作品
撮影者:カルミナ ルイズ ムラカワさん
(メキシコ出身)

その他の協会事業

創立30周年記念事業

1990年2月の設立から、2020年で30周年を迎えたことを祝し、11月14日（土）に記念式典を執り行いました。

第一部では、県内の個人や団体、地域日本語教室の皆様に日頃の感謝の意を表し、記念品を贈呈させていただき、第二部では、NPOテラ・ルネッサンスの創設者 鬼丸昌也氏を招き、基調講演をしていただきました。

会場横では、県内の外国人住民や県国際課のCIR（国際交流員）らによる「ワールド・カフェ」も開催し、世界のお茶や、コーヒー、お菓子を来場者にふるまい、多くの方に楽しんでもらいました。

また、30周年記念誌も作成し配布しました。



佐賀県住民 有賀義理国際交流協会
創立30周年記念誌

インターンシップの受入

インターンシップの受け入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀国際協力推進員や国際交流員との対談など、さまざまな業務に参加してもらい、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めてもらいました。

受入実績

学 校	実 施 期 間	参 加 人 数
佐賀西高校 (UWC Costa Rica留学中)	2020年7月27日～7月31日	1名
JICA海外協力隊 (一時帰国中)	2020年8月3日～8月27日	1名



さが多文化共生センター



県からの委託を受けスタートした外国人住民に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」は、2020年10月30日に1周年を迎えました。専任の相談員が通訳者や専門家と連携のもと、対面・電話・メール等の方法を用いて相談対応しました。またホームページを開設したり、広報用動画を作成したりするなどして、情報発信の体制強化を図りました。

対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語
ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	
中国語		英語	韓国語	

その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケトーク）を利用して対応



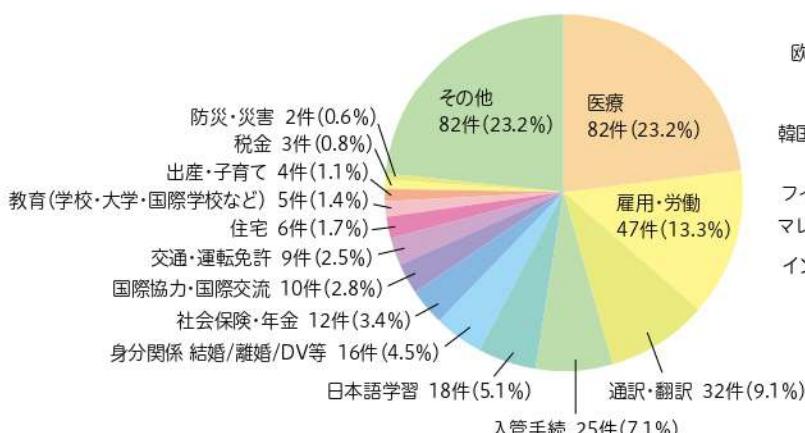
ポケトーク

生活相談

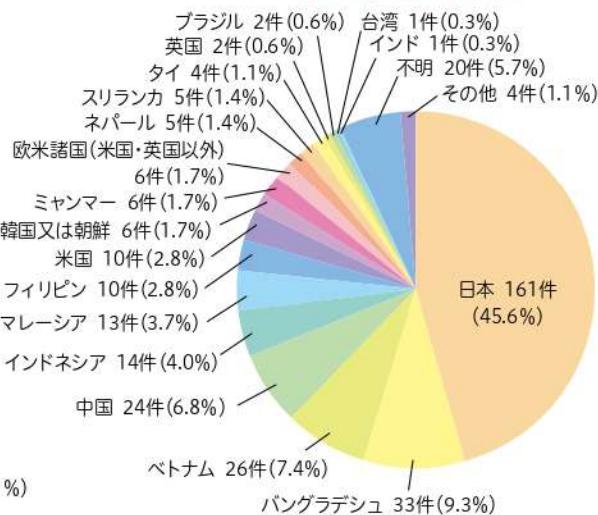
相談内容に応じて、情報提供を行うほか、当協会登録ボランティア、各市町、行政書士、民間国際交流団体等に引き継ぐなど、連携を図りながら対応しました。また、他県の地域国際化協会やCSO（市民社会組織）等民間団体と連携し、より良い解決方法について情報収集を図りました。

2020年度 相談の件数 延べ 353件

相談内容のカテゴリー別内訳



相談者国籍別内訳



専門家相談

生活相談の中で専門家による対応が必要と判断される案件は関連機関と協力し、相談を実施しました。2020年度は弁護士に5件、行政書士に7件、佐賀県しごと相談室に15件、その他の専門家に5件ご対応いただきました。

新型コロナウイルス感染症関連の在住外国人支援

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在住外国人支援として、特別定額給付金の申請書の書き方について説明した動画をやさしい日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語の5言語で作成しました。また、県内に住む外国人向けに様々な言語での応援メッセージ動画で配信するSPIRA SMILE プロジェクト（スペースプロジェクト）を実施しました。県内外外国人住民に制作にご協力をいただき、19言語24本の動画を公開しました。



賛助会員

賛助会員募集

趣旨

当協会では、県民総参加の「多文化共生の地域づくりの推進」のために、賛助会員制度を設けております。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いします。

対象

当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等

賛助会員の区分と会費

個人会員	年会費 1 口	3,000 円
団体会員（団体・企業・機関等）	年会費 1 口	10,000 円

会員の特典

協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」（年 4 回発行）

民族衣装の無料貸出



賛助会員（個人39名、団体28団体）（2021年3月31日現在）（団体名については50音順・敬称略）

オイスカ佐賀県推進協議会	佐賀ユネスコ協会
株式会社 音成印刷	社会福祉法人 佐賀整肢学園
株式会社 翔和	滝登り実行委員会
株式会社 テクノ九州	特定非営利活動法人 地球市民の会
唐津ボランティアガイド	中原胃腸科内科
公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団(アバンセ)	西九州大学
こんにちワークSaga	西九州大学短期大学部
佐賀経友会事業共協同組合	にほんごすいもく 水ようび
佐賀県商工会連合会	にほんごすいもく 木ようび
佐賀県地域婦人連絡協議会	日本語ネットワーク佐賀
佐賀県日中友好協会	日本文化教育学院
佐賀広告センター	ヒーリングファミリー財団
佐賀中国交流倶楽部	モードサプライ協同組合
佐賀・ノルウェー友好協会事務局	ラボ国際交流地域会（公益財団法人ラボ国際交流センター）

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2020年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2021年5月20日
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1階 佐賀県国際交流プラザ内
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

